

ジェネリック医薬品の利点と欠点

治験新聞

第37号

2013年8月

年6回

偶数月発行

なかよし薬局
046-220-6868
(船子店)

愛甲南店・荻野店
愛川店・愛甲店
養田店・関口店
恩名店・局前店
酒井店・東名店
湘南台店・中津店

治験コーディネーター見習い中の薬局薬剤師が「薬担当者の小喃」として、医薬品の開発や薬の使い方を医療関係者の視点から伝えていきます。

厚生労働省が広く普及するよう推奨しているジェネリック医薬品とは手放しで推奨されるものなのでしょうか。治療薬としての側面、また経済的な側面も含め、利点と欠点ををご紹介します。

成分が同じでも違う薬として

先発医薬品とジェネリック医薬品の絶対的な共通点は「有効成分が同じ」である点です。その他の、有効成分以外の添加物や製造過程は異なっている場合が多いです。

添加物や製造過程が違うことによる利点は、先発医薬品にはない特徴を付加することが可能になることです。その一例として、アムロジピンベシル酸塩錠という高血圧・狭心症の治療薬があります。これは先発医薬品は錠剤のみですが、ジェネリック医薬品の中には錠剤だけでなく内用ゼリー（写真1）やODフィルム（写真2）というものがあります。内用ゼリーとは、ゼリー状の液体に有効成分を溶かしてスティック状に包装したもので、外出先でも水無しで服薬したり食べ物や飲み物などに混ぜて介護者でも簡単に服用させることができるという利点があります。ODフィルムとは、オブラートのような半透明のシート状のもので、こちらも水無しで服用することができ、持ち運びも楽になります。



写真1). 内用ゼリー



写真2). ODフィルム

欠点は、変更することで新しい添加物によるアレルギー反応を引き起こす可能性があること、吸収量が一定になるように特殊な加工をしている製剤では先発医薬品と比べて吸収量が一定にならないジェネリック医薬品が存在することなどで、これらは治療効果に影響は無いとは言いがたいものです。また、世の中で広く使用されている先発医薬品ほど複数の製薬企業が同成分のジェネリック医薬品を発売している傾向もあります。錠剤の値段やシートのデザインは各企業によって異なり、各々の医院で決められた医薬品が処方されるため、病院や薬局が変わると同じ成分なのに違う薬を飲むような感覚になってしまいます。先述したアムロジピンベシル酸塩錠は30社近くの製薬企業からジェネリック医薬品が発売されています。

「お薬代が安くなる」に誤解も

医薬品の値段に関して、多くのジェネリック医薬品は先発医薬品と比較して安くなるので利点とも言えますが、成分の種類によってはほとんど差が無かったり、薬局窓口での負担金で比較すると大幅な減額にはならないことが多くあります。どのくらいの減額で安くなつたと実感できるかは人によって様々ですので、安くなるのが一番の利点かというところ、そうでもないと言えます。

また、患者さんや国の負担軽減のためにジェネリック医薬品ばかりが主流になると、先発医薬品の製薬企業は十分な収益が得られませんが、収益が無ければ新薬開発のための資金が乏しくなり、革新的な薬が世に出るのが遅くなってしまう、結果的に、薬物治療の面での進歩が滞るとの見方もあります。

どんなものでも利点と欠点があります。誤解のない知識をもって、治療に参加しましょう。

なかよし薬局では、地域貢献型の医療を目指して一緒に仕事をしてくれる薬剤師を募集しています！
詳しくは下記連絡先まで！薬剤師を対象とした復職支援も行っています！

株式会社イノベーションオブメディカルサービス 厚木支社（採用担当）

電話：046-220-1171

電子メール：recruit@ims-inc.co.jp

Writer:Kuniyoshi Matuoka Directed by:Makiko Saito

